

御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金実績報告書

平成31年1月25日

御殿場市長様

所在地：

団体の名称：一般社団法人御殿場青年会議所

代表者の氏名：山田 秀明



平成30年5月8日付け、30第御市協第147号により交付決定を受けた、御殿場市市民協働型まちづくり事業を実施したので、関係書類を添えて報告します。

区分	<input type="checkbox"/> はじめの一步事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案事業
事業の名称	ハロウィンフェスティバル in Gotemba
事業の内容	昼の部と夜の部二部構成で御殿場にてハロウィン事業を開催致しました。昼の第一部「ハロウィンフェスティバル in Gotemba」は樹空の森を会場とし、内容として飲食・体験ブースを設置し、ダンスやライブの観賞、会場敷地内の仮装クイズラリー、仮装コンテストを行いました。夜の第二部「ハロウィンパーティー in Gotemba」では御殿場駅富士山口に会場を移し、商店街のスタンプラリー、DJ やパフォーマーのライブ、仮装者を中心とした交流を行いました。 ※別紙イベントチラシ、事業行程を参照。
事業の成果等	ハロウィンを通して市民が参加するだけでなく、ダンスやコンテストパフォーマンス、出店・出演などでまちづくり事業を共に盛り上げ御殿場市の魅力的な事業を造ることができ、また御殿場でもこのような参加型のイベントを実施している事を広くPR できた。 また、この事業の会場である樹空の森及び御殿場駅前商店街へ、この事業をきっかけに初めて来訪した参加者も見られ、施設やまちの周知にも繋がりました。

様式第8号（第8条関係）

収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

区 分	決 算 額	備 考
市補助金	300,000	市民協働型まちづくり事業補助金
自己資金	71,518	御殿場青年会議所 会費より
合 計	371,518	

2 支出の部

区 分	決 算 額	備 考
報償費	78,000	ステージパフォーマー謝礼 司会進行謝礼
印刷製本費	101,257	チラシ・ポスター作製費 横断幕作成費
消耗品費	1,851	お菓子袋購入費
使用料	10,000	シャトルバス借上げ料
保険料	4,670	イベント保険加入料
会場設営費	85,000	音響設備、会場装飾料
記念品代	5,676	トロフィー製作費
景品・賞品代	84,200	お菓子・商品購入費
雑費	864	振込手数料
合 計	371,518	

協働事業(モデル事業)の相互検証総括表

事業名称	ハロウィンフェスティバル in Gotemba
団体名	一般社団法人 御殿場青年会議所
行政担当課	観光交流課・商工振興課

検証のための会合日時	平成31年 1月 21日	出席者	団体 2名・行政 2名
記入者氏名	団体	沼田 幸治	
	行政	瀬戸 祐太郎	

●自己評価で、お互いの評価・認識が異なっていたことはありましたか。またその理由は何ですか。

1. 行政としてはより細かい部分まで求めていたため。
3. 公共的に広報等を実施する場合、早め早めの決定が必要で、その点からみると少し遅い部分もあったと行政側が感じたため。

●この事業は市民協働型まちづくりという視点から見て、どの程度成功したと思いますか。また、その理由は何ですか。

80点。初回事業としては、常に情報共有ができ、お互いの課題解決になる事業となったから。
残りの20点については、PR方法の改善と、次年度以降に向けて更なる盛り上がりを見せるため、より良い事業を目指すため。

●今後、このような事業を実施する場合に、改善した方がよいと思うことはどのようなことですか。

①コンテストやスタンプラリーなどのルールをより簡易的かつ明確にする。②実行委員会の位置づけを明確にする。③事業内容の詳細を早めに確定し告知の質を高める。④ボランティアや設営者の急な欠席に対応できる人数を確保する。⑤飲食の出店を増やす。⑥共用のごみ捨て場を増やす。⑦学校・団体の行事とかぶらないよう調整する。⑧お菓子の数を多めにし、スタンプラリーのお店にも配布用を用意する。⑨広報をもっと充実すべき。

●市民団体側から、行政に対する意見をあげてください。

的確な対応とアドバイスをいただき大変助けていただきました。
担当課以外の参加があまり無かったので、協働の相手方以外の職員にもっと興味を持って欲しい。

●行政側から、市民団体に対する意見をあげてください。

普段の仕事をしながらの活動で大変だったと思います。
広報の部分や細かいルールづくりなどもできてくると、さらに良くなると考えます。
お疲れ様でした。

自己評価シートを持ち寄って、団体と行政が話し合っけて記入してください。文責者として双方の出席者から代表者の氏名を1名ずつ記入してください。

協働事業(モデル事業)に関する自己評価シート

記入年月日
平成31年1月13 日

事業名 ハロウィンフェスティバル in Gotemba

団体名 一般社団法人御殿場青年会議所

記入者氏名 沼田 幸治 話し合いに同席した人数[3 名]

(1) 協働の原則に関すること

項目	よくできた	まあまあでした	あまりできなかった	まったくできなかった	理由
1 実施団体と行政が話し合っ、事業の達成目標を共有することができた。【目標共有の原則】	○				目標を共有し、定期的に話し合い取り組みました。
2 実施団体の自主的なアイデアや意見を活かして、事業に取り組むことができた。【自主性の原則】	○				場所の調整は行政、内容は実行委員会とJCという形で役割分担致し取り組みました。
3 実施団体は公共的な事業に従事していることを自覚し、責任を持って意思決定することができた。【自己決定・自己責任の原則】	○				公共的な事業に従事していると自覚と責任を持って取り組みました。
4 行政は団体に対等のパートナーとして扱い、取り決めた範囲外の仕事を押しついたり、一方的な指示や命令を下すことはなかった。【対等の原則】	○				常に最善のアドバイスとサポートをしていただけました。
5 行政と団体がお互いにノウハウや経験、資源を提供しあって事業を遂行することができた。【補充の原則】	○				開催場所や出店者・協力者の調整、設置道具の強力など、お互いの強みを活かして協力致しました。
6 行政と実施団体は対等の立場でお互いに信頼できる関係を構築することができた。【信頼の原則】	○				終始信頼できました。
7 事業に関連する情報を行政と実施団体が共有できるように努めた。【情報共有の原則】		○			可能な限り共有するよう努めました。が、事業全体の詳細決定が遅れや急な変更があり迅速な共有ができない事がありました。
8 事業の内容や進捗状況、成果について、ニュースレターやホームページなどの媒体で積極的に情報公開した。【公開と評価の原則】			○		団体内の会議で変更や修正が長引き、宣伝に関しては不十分になってしまいました。

(2) 協働事業の成果・効果に関する評価

項目	目	よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	理由
9	当初の事業の目的どおり、地域課題の解決に役立った。目標を達成した。 [課題解決]		<input type="radio"/>			取り組んで気づいたこともあり改善点は多々あるものの、目標は達成できました。
10	この事業によって、市民や地域住民にとって十分な利益(メリット、満足度)があった。きめ細かいニーズに対応することができた。 [ニーズ性、サービシ性]		<input type="radio"/>			予測を大幅に上回る参加者の人数とアンケート内容で市民に楽しんでいただけた反面、細かなサービシ性においては手が回らず不十分でした。
11	行政あるいは市民団体だけで行うよりも、成果が上がった。 [事業効果]	<input type="radio"/>				重伝や施設の協力、事業開催経験において団体だけで実施するより遥に効果的な事業にできました。
12	協働によって、団体自身の活動基盤の充実や発展につながった。 [発展性]	<input type="radio"/>				団体のアピールにもなり、多くの協力者と知り合うことができて、今後の活動においても有益な事業となりました。
13	この事業をとおして、行政(市民団体)と協働することの意義やノウハウを獲得することが出来た。 [事業効果、発展性]	<input type="radio"/>				団体内の決定だけに終わらず、対外的な意見やアドバイスをいただくことで対内事業ではできないノウハウを学びました。
14	事業をとおして、協働による取り組みを広げていこうという意欲が高まった。 [発展性]	<input type="radio"/>				参加者の次回事業の継続への期待を直接聞くに当たり、改善点も含め広げたいと感じました。
15	団体の専門性やノウハウを十分に活かすことが出来た。 [専門性]	<input type="radio"/>				出店や出演者の調整などのノウハウ面で貢献できました。
16	全市的な波及効果が期待でき、モデル的な事業となった。 [モデル性、新規性]		<input type="radio"/>			ハロウィン自体は真新しいものではないが、夏祭り以外で夜の駅前に家族や子供の参加者を多く呼び込んだ事は一つの成果でした。

補足意見

自由意見

●この事業をとおして、市民協働型まちづくりを進めていく上での意見、課題を記入してください。
 施設・予算において、これだけの事業は行政と協働しなければできなかったもので、今後とも継続していきたい。
 審査会や報告会等では、団体が目標としている部分をどのようにすればさらに良くなるか等の前向きなご意見をいただきたい。
 イベント当日や準備等において、行政職員の積極的な参加があれば更に事業が発展すると思う。

協働事業(モデル事業)に関する自己評価シート

記入年月日
平成31年1月18日

事業名 ハロウィンフェスティバル in Gotemba

部課名 産業スポーツ部観光交流課・商工振興課

記入者氏名 瀬戸 祐太郎 話し合いに同席した人数[2 名]

(1) 協働の原則に関すること

項	目	よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	理由
1	実施団体と行政が話し合って、事業の達成目標を共有することができた。【目標共有の原則】		○			基本的に定期的な話し合いにより、大きな達成目標を共有することができたが、細かい目標については共有しきれていない部分も少しあった。
2	実施団体の自主的なアイデアや意見を活かして、事業に取り組むことができた。【自主性の原則】	○				実施団体の自主性に基づいて事業に取り組むことができた。
3	実施団体は公共的な事業に従事していることを自覚して、責任を持って意思決定することができた。【自己決定・自己責任の原則】		○			重要事項に関しては実行委員会に諮るなど、確認も含め責任を持って意思決定をすることができていたと考える。
4	行政は団体をお互いのパートナーとして扱い、取り決めた範囲外の仕事を押しついたり、一方的な指示や命令を下すことはなかった。【対等の原則】	○				取り決めた範囲で相談しながら、互いに事業を進めることができていたと考える。
5	行政と団体がお互いにノウハウや経験、資源を提供しあって事業を遂行することができた。【補充の原則】	○				互いの強みを活かすことができた。
6	行政と実施団体は対等の立場でお互いに信頼できる関係を構築することができた。【信頼の原則】	○				定期的に話し合いの場を設けるなどして、信頼できる関係を構築することができたと考ええる。
7	事業に関連する情報を行政と実施団体が共有できるように努めた。【情報共有の原則】		○			定期的な話し合いにより、大枠の情報共有はできていたが、詳細など不明確な部分が見受けられた。また、情報共有の迅速さという面での課題はあった。
8	事業の内容や進捗状況、成果について、ニュースレターやホームページなどの媒体で積極的に情報公開した。【公開と評価の原則】			○		報道各社へのプレスリリース、市Facebook、市HP、御殿場青年会議所HP、ポスター・チラシなどで情報公開した。もう少し早めの情報公開に努めたかった。

(2) 協働事業の成果・効果に関する評価

項	目	よくできた	まあまあできた	あまりでなかった	まったくできなかった	理由
9	当初の事業の目的どおり、地域課題の解決に役立った。目標を達成した。〔課題解決〕		○			御殿場駅前及び富士山樹空の森の活性化という点では、来場者数を原と、目標を達成できたと考える。市民参加型のイベントにできた。今後の継続が大切だと考える。
10	この事業によって、市民や地域住民にとって十分な利益(メリット、満足度)があった。きめ細かいニーズに対応することができた。〔ニーズ性、サービシ性〕		○			市民にハロウィンというイベントの楽しさを伝えることができたことがアンケート結果から分かる。
11	行政あるいは市民団体だけで行うよりも、成果が上がった。〔事業効果〕	○				互いの特性を活かすことで、成果が上がったと考える。
12	協働によって、団体自身の活動基盤の充実や発展につながった。〔発展性〕	○				ノウハウの蓄積、横の繋がりがりなど、今後の活動に活かせるのではないかと。
13	この事業をおおして、行政(市民団体)と協働することの意義やノウハウを獲得することが出来た。〔事業効果、発展性〕	○				行政目線、市民目線の意見交換をすることができた。
14	事業をおおして、協働による取り組みを広げていこうという意欲が高まった。〔発展性〕	○				協働によるメリットを実際に経験できたので、今後の取り組みに関する前向きな意欲が高まった。
15	団体の専門性やノウハウを十分に活かすことが出来た。〔専門性〕	○				御殿場青年会議所という様々な業種が集まった団体の特性を活かすことができた。
16	全市民的な波及効果が期待でき、モデル的な事業となった。〔モデル性、新規性〕		○			今後どう発展させていくかが大切だが、市民協働事業のイベントとして、

補足意見

自由意見

●この事業をおおして、市民協働型まちづくりを進めていく上での意見、課題を記入してください。

市民目線、行政目線の両方からまちづくりを進めることができるので、今後も継続いただけたらことを希望する。